

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年に比べ台風被害が少なく、来客数も例年並みである。野菜等の相場も安定しており、客の購買意欲は高い。
		コンビニ（エリア担当・店長）	競争相手の様子	・近隣の大型スーパーが改装のため閉店しており、自店の売上、来客数は伸びている。気温が高く、夏物商材の売行きが良い。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・残暑の影響で相変わらず季節商材が好調である。
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・テレビを中心に全体的に良く動いている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・9月は連休もあり、人の動きが活発である。予約の状況も良く、来客数、売上共に前年を上回っている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・暑さ回避と価格下落をねらって、夏の休暇を9月に取る傾向が強くなっている。また、東京を中心にビジネス利用も増えている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・隣接する観光施設が9月末で閉館するため、駆け込み的に利用者が増加している。宿泊とゴルフは横ばいで推移している。
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・残暑が厳しく、高齢者の来客数が多い商店街には厳しい状況である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・残暑が長引き、秋物衣料の動きが鈍い。月末にかけて少しずつ回復している。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・9月に入っても猛暑が続き、例年以上に日本茶の売行きが悪い。もともと天候で左右される商品だが、今年は特にその傾向がある。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・衝動買いをする客が減少しており、購買に慎重になっている。催事については、お得感のある催しや若手女性社員のコンセプトに沿って組み立てた催しは来客数が増加し、売上も上昇する。しかし従来型のカレンダー催事での集客は厳しくなっている。また、手持ちの現金での購入を済ませる客が主で、クレジットでの購入をちゅうちょする声が多く聞かれる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・9月に入っても猛暑が続き、婦人・紳士とも秋物衣料の動きが鈍い。全体としては前年を上回っている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・残暑が厳しく秋物が稼動しない。ファッション分野での購買意欲が落ちていたが、それ以外の部分でも減退している。
		百貨店（業務担当）	販売量の動き	・残暑が厳しく、秋冬物の衣料品に本格的な動きがない。雑貨の動きも鈍いままである。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・食の安全に関する問題や高齢化等により、消費量が減少している。原材料の値上がりによる小売価格の値上げも消費意欲の減退に拍車を掛けている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・今月末に競合店が開店し、来客数が激減している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・猛暑が続き、購買意欲の低下が続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・敬老の日ギフト関連は非常に好調である。ハイミセス服も前年比114%、ケープ、ひざ掛け等服飾雑貨も同110%と好調である。その他旅行関連商品もトラベルバッグが同119%で伸長している。ただ残暑が厳しいため、子供服を中心に秋物ファッションが不調である。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・食料品については前年並みで推移しているが、衣料品は残暑の影響で相変わらず不振である。

スーパー（企画担当）	来客数の動き	・月初は雨天が続き、気温も低くなっていたが、それ以降は最高気温30以上の夏日が続き、アイスクリーム・清涼飲料・ビール・発泡酒等が大幅に伸長している。また、競合店の閉鎖による流客で来客数も増加している。しかし、猛暑により野菜の品質が低下し、入荷が減少しており、中国産原料の加工食品も不振である。例年なら動き始める秋物商材等の動きも鈍く、大型商業施設や競合スーパーマーケットの影響も依然続いている。	
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・9月中も暑い日が続き、売れるものが季節と合致していない。また、中国産商品の売上が悪く、品ぞろえも少々減らしている。	
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月に入っても気温が高いため飲料、アイス等の売上が好調に推移しており、前年を上回る状況である。	
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・残暑が厳しく、秋物が売れない。流行のワンピースやチュニックだけは動いたが、全体としては苦戦している。特にジャケットスーツなどキャリア向け商品の動きが悪い。	
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・9月は秋物の立ち上がりの時期であるが、残暑が厳しく出足が鈍い。ただし中旬以降、魅力的な秋冬物商品を目にした客は、暑くても単価が高くても購入する傾向があり、総じて前年並みに推移している。	
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・ヤング衣料品は雑貨物が前年実績を上回っている。ミセス婦人服は夏物バーゲンが不振となり前年割れである。宝飾品はセール時の売行きが良く、前年実績を上回っている。着物・呉服は来客数の大幅な減少により苦戦している。衣料品全体としては、前年をやや下回っている。	
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・販売量が前年、前月と比べて減少傾向である。	
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・相変わらず来客数は少ないが、大口の購買が少し出ている。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	販売量の動き	・厳しい残暑の影響から、燃料油の販売は好調である。ただ、燃料油の小売価格は高止まり状態であるため、必要な分だけの定量購入者が増えている。	
高級レストラン（専務）	来客数の動き	・大型商業施設が郊外に開店し、中心市街地近辺は客が減っている。	
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・婚礼、レストラン、宿泊等の個人消費は予算、前年実績を上回っているが、法人関係の一般宴席が予算、前年実績を下回っている。	
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・台風による早めのキャンセルが出ている。しかし、地元の婚礼関係の動きが良く、売上増加につながっている。	
通信会社（管理担当）	販売量の動き	・受注件数が伸びていない。	
通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販売量が伸びず、窓口に来る客の様子をみても景気は良くない。	
通信会社（業務担当）	来客数の動き	・週末の来客は多かったものの、平日は新サービスの受付も落ち着き、来客数は減少している。	
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・異常気象でゴルフ場の入場者数も思うように伸びない。また、イベントを開催しても例年より参加者が少なく、猛暑は屋外施設に大きなダメージを与えている。	
美容室（店長）	競争相手の様子	・競合店に低料金の店が増えており、厳しい状況である。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・仲介業務の土地の問い合わせが先月とあまり変わらない。競争相手も同じ状況である。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・暑さで来街者数が少なく、販売量も落ちている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街は高齢客が多いため、連日の猛暑により買物客がかなり減っている。また商店街には駐車場が少ないため、帰省客等も近隣のデパート、商業ビル等に足を運んでいる。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少しており、空き店舗も増加している。
	商店街（代表者）	それ以外	・長引く猛暑により、秋物の動きが非常に悪い。

商店街（代表者）	来客数の動き	・郊外大型店の競争激化により中心街への来客数は減少している。	
一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・記録的な暑さで客の購買意欲はかなり落ちている。その上、県外物の野菜がかなり高値で推移しており、厳しい状況である。	
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・暑さにより、この時期売れるべき婦人服のジャケット、コートがまったく売れない。雑貨でもブーツ等秋冬物の動きが極端に悪い。	
百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・郊外型大型商業施設の出店後、中心街の各店は非常に苦戦している。	
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・来客数が前年比102%と前年実績を上回っているが、売上は同97%で推移している。中旬以降、残暑がかなり厳しく、全般に秋物の衣料品が苦戦している。他店もあまり良くない。	
百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・9月の最高平均気温が30度を超えて推移し、秋物商品の動向が不振である。特に婦人服では、晩夏物のカットソーのみ好調で、他のアイテムは不振である。全館の来客数は前年の台風の反動もあり、前年並みで推移しているものの、動員施策や秋、冬の提案商品はいずれも厳しい状況である。	
スーパー（店長）	単価の動き	・野菜等の高値がずっと続いており、客の買上単価は上がっている。一方、来客数はなかなか増えず、買上個数も約1点ほど少なくなっている。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・9月に入っても暑いいため、秋物衣料関係の動きが非常に鈍っている。	
コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・量販店の売上が前年比106.3%、リニューアルしたスーパーは同100.8%、コンビニは同100%程度で推移している。今月に関しては販促計画がなければ、前年割れである。	
家電量販店（店員）	競争相手の様子	・客の買い控えが見受けられ、来客数が減少している。競合他社の状況も全く同じである。	
高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・今月は3連休が2度あったが、近くの割烹旅館の宿泊はほとんどなかったようである。月半ばからタクシー代の値上げがあり、郊外にある当店の売上の減少につながっている。	
スナック（経営者）	お客様の様子	・以前に比べて客は消費に対してシビアになっており、厳しい。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・8月の反動により、来客数が減少している。	
都市型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・団体の大会物等はあるが、個人客の動きが悪くなっている。	
タクシー運転手	お客様の様子	・9月に入っても、客の動きは夏のみである。衣料品店には既に夏物がないが、秋物はほとんど売れておらず、買物に出る客自体が減っている。	
競馬場（職員）	販売量の動き	・来客数、客単価の下落傾向が止まらない。	
美容室（店長）	来客数の動き	・猛暑のため、来客数が減少している。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・猛暑で人の動きが悪く、夏物の動きも秋物の動きも悪い。客の購買意欲も全く感じられない。
	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今月は気温が高く、秋物が全く動かない。特に20日以降の気温が前年より5度高く、非常に悪い。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比92%程度で推移している。また、競合店の出店もあり、競争はますます激化している。
	衣料品専門店	来客数の動き	・例年に比べ非常に暑く、客足が鈍い。また商店街の中で工事中の店やシャッターが閉まっている店が増えており、絶対的な来客数が減っている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・真夏のような暑さにより、来客数が減少しており、景気は悪い。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・長引く猛暑により来客数は減少し、秋物の動きが鈍い。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・9月に入っても衰えない猛暑により、客足は途絶え、閉店休業状態である。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。販促のため各企業に挨拶回りに行ったが、シビアな状況である。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日の夜の客が極端に減っている。

		その他飲食〔居酒屋〕(店長)	来客数の動き	・例年になく暑さが厳しいため、客が少ない。当店で2次会、3次会で利用する客が多く、売上が半減し、苦しい月である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく人が動かない。乗車率も悪く、売上も前年比2～3割程度落ちている。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	金融業(調査担当)	取引先の様子	・取引先の様子をみると、製造業者を中心に設備投資意欲がおう盛である。
	変わらない	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・長引く猛暑も手伝って、ビール消費に伴う焼き鳥関連の消費が伸びている。スーパー等においても、宮崎効果続いており、一部の加工品は前年の倍以上の出荷である。
		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・季節商材の動きは良いが、原材料等の価格上昇により厳しい。
		繊維工業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・中国での生産が難しくなっており、当社の受注が安定しつつある。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・リードフレーム、コネクタ等の電子部品関連は全般的にかなり忙しい。精密機械部品関連も動きは良い。
		建設業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・工事の見積もり依頼は数件あるが、予算が少ないため、少々の赤字を覚悟しないと受注できない。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・例年月末にかなり動いているが、今月は月初めから月末まで動きが悪く、2、3か月前とあまり変わらない。
		輸送業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・全体的に荷動きは悪いが、特に衣料品の動きが悪い。
		金融業(営業担当)	取引先の様子	・取引先をみると、製造業を除き、中小零細企業の設備投資に伴う資金需要が低迷しており、現在の借入金の返済金額の軽減を考えている経営者が多い。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注量はあまり変わらないが、単価の低下が目立つ。
	やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業(経営者)	それ以外	・受注価格や販売は停滞気味であり、燃料、ガスの高騰、その他原材料の価格が上昇しており、厳しい状況である。
		通信業	受注量や販売量	・受注量がやや落ち込んでいる。
		金融業	取引先の様子	・取引先をみると、長引く猛暑により、小売、サービス等で資金繰りが厳しくなっている。
不動産業		取引先の様子	・賃貸物件募集の際、初期費用を抑えたいという意見が多い。材料費、部品等の価格高騰により、空室を改装する際の工事金額が上がっている。	
新聞社(広告)		取引先の様子	・広告出稿に意欲的な業種もある一方で、全体としては前年割れが続いている。	
その他サービス業〔物品リース〕(従業員)		受注量や販売量の動き	・設備投資の受注案件がこの2、3か月小口化してきており、大型案件の受注が減少傾向にある。	
悪くなっている	農林水産業(従業員)	それ以外	・飼料価格の上昇が続いており、その他にもダンボール資材、ポリ袋等の価格も上がっている。しかし販売先への値上げ要請は思うように話が通らず、非常に厳しい状況である。	
	電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・競争相手の価格が下がっており、価格の採算が合わず、納期も非常に遅れ、稼働率が悪くなっている。	
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規に受け付けた求人数は、前年に比べ若干伸びている。小売業、飲食店の求人が前年の倍程度に増加している。一般中小企業まで景気が少し良くなってきている。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人全体では増加しているものの、請負、派遣の増加によるもので、一般求人は減少している。3か月前と求人の内容、状況に変化はない。
職業安定所(職員)		それ以外	・一般求人の数は増加しているが、その内容はパート、臨時職員が多い。求職者の多くが希望する条件と合致しておらず、就職件数に結び付いていない。	

	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・前月から比較して、短期、単発案件は若干前年を上回っているが、連続2か月以上の長期勤務案件は前年並みである。求職者は増加傾向にあるが、正社員志向が強く、派遣と正社員並行した求職活動をしている。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・大きな減少ではないが、九州地域の人材派遣需要が前年割れの状況である。加えて、顧客要望の人材を供給することが厳しくなっている。
	学校〔大学〕（就職担当者）	求人数の動き	・平成20年3月卒業予定者向け求人は落ち着いているが、平成21年3月卒業予定者向けの求人に関する企業側の関心は高まっている。求人意欲の高まりは、当面は衰えない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・コールセンター関連の人材は不足感があるが、事務系の人材の需要は芳しくない。
	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・例年9月になると求人が活発になるが、当社の売上を見ると前年をかなり下回っている。アルバイト、パート求人から、正社員求人に移行しているようでもない。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・競争が激化している業種でのリストラ、人員整理が目立っている。
悪くなっている	-	-	-